

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 19 号

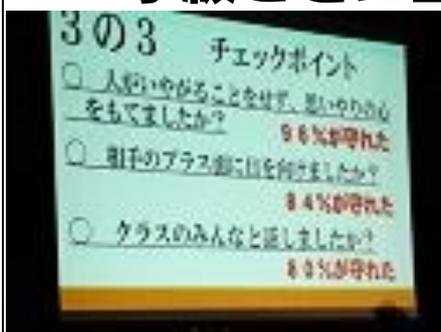
平成30年12月18日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

本年度2回目のいじめに関する全校集会 学級ごとに自分たちのいじめ対策を評価



いじめをなくすために生徒会が取り組んでいる全校集会については、本紙第8号で一度紹介しました。これを受けて9月には学級ごとに対策ポイントを作成しました。さらに11月28日(水)には、対策ポイントの実行状況を自分たちで評価し、改善に向けた誓いを発表する2回目の全校集会を開催しました。

紙幅に限りがありますから、今回は各学年の3クラス分の改善の誓いを紹介しましょう。

- 1年1組**：周りのことをしっかり考えて言動し、自分がやられて嫌なことは他の人にやらないようにします。そして、相手の個性を尊重し、一人で嫌なことを我慢する人がいないクラスを作ります。
- 1年5組**：協力し合い、みんなで一つになることやチェックポイントを守るなどを心がけて生活したり、今までできていなかった「いじめている人を注意することをしっかり心がけて生活していきたい」と思います。
- 1年9組**：互いに協力し合い、助け合いながらいじめのない、生活しやすい環境を作っていこうと思います。そして学校全体でもいじめがなくなるよう努力していこうと思います。
- 2年1組**：一人一人の意識を高めていこうと思います。チェックポイントを意識して生活をすれば、今のクラスよりも過ごしやすい環境づくりができると思います。そして、相手の立場に立って物事を考えることをしっかりやっていきたいと思います。
- 2年4組**：全員がお互いのことを考えて行動し、楽しい環境の中で、学校生活を送れるようにします。
- 2年7組**：やられて嫌なことは絶対にしない。相手の気持ちを考えて行動し、やられている人がいたら注意していきます。
- 3年1組**：あいさつを全員が全員にすることを心がけていきたいと考えています。朝、教室に入るときに、ひとこと「おはよう」と言うことを心がければクラスの雰囲気も明るくなるはずです。毎朝あいさつをすることによって、クラスメイトとのコミュニケーションを今まで以上に、よりよい人間関係を築いていきたいと思います。
- 3年5組**：相手の気持ちを考え行動し、一人一人の個性を受け入れ、誰にでも平等に接します。また、特定の人以外とも元気よくあいさつをする、コミュニケーションを取ることを決めました。
- 3年8組**：できなかったことを中心に平等に接するように心がけたいと思います。学級で出た反省の中には、みんなと楽しく会話できるけど、話し相手が偏ってしまうなどの反省がありました。毎日必ずみんなと話すことは難しいと思いますが、意識を高めてより多くの友だちと楽しく話せるようにしたいと思います。

来年1月以降は、再度対策ポイントを検討し、実践します。

学級の課題解決のために学級会で対策やルールを決めたりします。その際、みんなの約束を、一人一人が自分に対する約束として決意することができるかどうか、成否の分かれ目となります。いじめのない学校づくりのための成功の鍵はそこにあります。また、3年生は、さすがに人権の意識や「平等」の理念を踏まえているようです。そこに「公平」「公正」という理念も重ねて考えられるようになると、考え方に幅が出てくるだろうと期待しています。



第2回英検合格者

各種検定試験の挑戦者が徐々に増えており、成績も向上しています。しかし、受験者の割合から言うと、もっと挑戦者が多くてもいいのではないかと思います。

準2級	井上 開智①	箭内 千歳③
3級	小林 由②	本間 朱華②
	安斉 翔一③	上田 陸登③
	宮澤 拓輝③	吉田矢真人③
	深谷 賢士③	町田 にこ③
	秋山 直士③	橋本 侑磨③
	澤井俊太郎③	
4級	武藤 楓①	田邊 彩花②
	小橋 夢冬②	有我 昭洋②
	澤井亜美花②	矢内 里歩②
5級	橋本 瞬①	吉田 颯①
	西村怜太郎①	山寺 虹輝①
	矢内 凜一①	兼子 誠矢①
	矢部 稜真①	村上 銀河①

郷土の誇りを胸に、 今年も中学生がタスキをつないだ

11月18日(日)に開催された第30回市町村対抗駅伝競走大会(ふくしま駅伝)に本校の名越 巧くん(3年)が出場し、7区 5.4kmを9位の成績で快走し、須賀川市チームの総合6位に貢献しました。



昨年の大会では、お姉さんの名越美帆さんが第9区を走りました。美帆さんも須賀川市のメンバーに選ばれていましたが、今年は残念ながら出場なりませんでしたが、近いうちに二人がふるさとの誇りを胸に、きょうだいでタスキをつなぐ日が来るだろうと想像しています。また、今後もふくしま駅伝のタスキを二中学生がつかないで走ることを期待しています。

年末年始を無事故で 助手席に荷物を置かない ハイビームを上手に使う

「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が12月10日(月)に始まり、来年1月7日(月)まで続きます。これを機に年末年始をご家族一同様が無事故で過ごされますよう、
運転手の皆さんに2つアドバイスをします。

一つめは、「車間距離を空けること」「助手席に荷物を置かないこと」を励行することです。教職員の場合は、この2点に気をつけることで約4割の交通加害事故を防ぐことができるというデータが出ています。

もう一つは、夕暮れ時や夜間の交通事故を防ぐために、ライトの上下切り替えをこまめに行い、幻惑防止を図るとともに、スピードダウンを励行することです。

また、**お子さんが外出する際は、明るい目立つ服装、反射材や懐中電灯の利用など、運転手に発見されやすいようにすること、交差点では横断歩道上であっても、急な横断・無理な横断はしないことを繰り返し指導してください。**



小中一貫教育の実効性を高めるために

第2回全体研修会を実施 合同学校評議員会も



本校と須賀川二小・阿武隈小・柏城小の3校では、年間2回の合同全体研修会を実施しています。2回目は、11月22日(木)に本校を会場に授業参観と分科会、全体会を行いました。授業研究会では、本校教員が行った授業に対し、小学校の先生方から熱心なご意見をいただき、須賀川市教育研修センターの渡辺真二先生から「昨年度と比較して、学びの協働化が格段に進んでいる。」との講評をいただきました。また、学力向上部会・

生徒指導部会・健康教育部会の3つの分科会では、年度当初の教育課題の解決状況を確認し、今後の問題点について話し合いました。

また、11月30日(金)には、上記4校合同の学校評議員会を開催し、小中一貫教育推進計画をもとに各学校の取組みを説明し、評議員の方々から、今後の方向性についてご意見をいただきました。

このような取り組みを通して、課題の共有⇒解決策⇒実践⇒評価⇒改善のサイクルを機能させ、須賀川二中校区の小中一貫教育の実効性を高めてまいりたいと考えております。



この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。